

●高田 泰治郎「東日本大震災」

(有)タカダ都市設計 武蔵野市境南町

あの地震から数カ月経ちました。

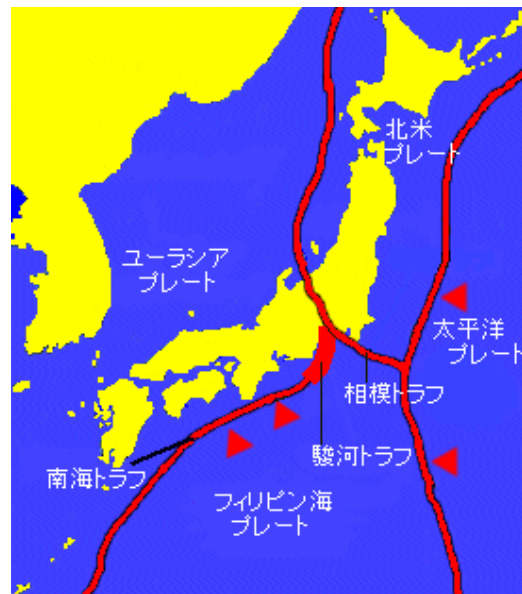
①地震②津波③放射能漏れ事故の3つが重なる大惨事です。

あらためて「自然の脅威を感じる」と同時に「自然と共生できていない日本社会」を放送されるニュースの中から感じた次第です。実際には現地に行っていないし、行政の方の努力も東電の真実もよくわかりません。しかし、**私たちの生活は、これから大きな変化を余儀なくされるかと思えます。**

この世はビックバンに始まり、137億年が経過しており、地球誕生は今から約46億年前のことです。

地球誕生は、微惑星の衝突・合体の繰り返しによって始まり、小さいものは大きいものに吸収され、徐々に一つの惑星へとまとまっていったのが始まりです。やがて微惑星の衝突が納まり、地球の表面温度が下がり、地表が固まったといわれています。

地球の表面は、十数枚のプレートという厚さ100kmほどの岩盤で覆われて、地球内部にはマントルと核があり、**海嶺付近では**マントルによって、地殻はプレートに変わり、常に沈下、上昇を繰り返す。これがプレート型地震のメカニズムです。地球が進化しているのか、老朽化しているのかわかりませんが、いづれにしても私たち地球号の立場は危ういのです。



今回の地震は列島の災害でなく、地球のごく当たり前の現象の一つなのです。

マントルの温度が下がってくれば、プレート活動もやがて沈静化してくる。と思うのですが

これからの地球はどのような道に進むのか。放射能のことも、テロのことも、それこそ自分の力では図り知れないのですが、地球誕生からの時間と自分の年齢を考え併せると、蚊のくしゃみ以下の極微小時間が過ぎようとしています。これからの時間で、自分に何ができるのか、何をしたいのか。よく考えこれからを過ごして行きたい。ハッフル望遠鏡によると、ほかに同じような惑星が存在し、私たちの住む宇宙と同じような環境が創造されているそうです。災害によって無念の生涯に終わった方々に心からのご冥福をお

祈りいたしますと同時にほかの惑星で、違う人生を歩んでいてくれることをせめて願っております。

(図-NPO 災害防災ボランティア未来会 HP)

自動ドア・ステンレス建具

 **ナブコシステム株式会社**

西東京支店
〒186-0003 国立市富士見台2-31-1
TEL : 042-575-1725
<http://www.nabcosystem.co.jp>

2011年4月1日 リクシル 株式会社LIXILが新たに動き出します。

トステム・INAX・新日軽・サンウエーブ・東洋エクステリアは、2011年4月1日より、株式会社LIXIL(リクシル)としてお客様の多様なニーズに対応した商品とサービスを提供してまいります。

Link to Good Living

株式会社 LIXIL 東京西支店
東京都昭島市田中町610-3
<http://www.lixil.co.jp>

●福室 武「東日本大震災について」

ふくむろ建築設計事務所 東村山市廻田町

石原都知事が今回の地震は日本人に対する天罰であると発言された。私はある意味で的をえていると感じた。

あるTVで“これより下に住むべからず”との石碑が紹介された。

今回の津波もこの碑まで致達していなかった。便利さを求めた旨に被害にあわれたのだろう

先人の教えを今になって悔やんでも遅かった。

また、液状化がみられた地域の一部は高級住宅地としてもてはやされたが昔の地形を変えてまで得た富に自然は笑っているかの様に思えた。

今回被害にあわれました方々に心からお見舞い申し上げます。

●神山 孝昭『今回の地震災害について』

慶成建築事務所 立川市富士見町

私は昭和31年4月3日生まれの申年です。

初代天皇の神武天皇と誕生日が同じです。子供のころは期待をかけられましたが、今となってはこんなもんです。勤めていたころは設計をしておりましたが、現在は住宅・アパートの施工が主です。

さて今回の地震の災害は誰もが考えもしていなかったことでした。波にのまれる建物、電柱、車全てのものが、一瞬でのみこまれる映像はこの世のものではなくCG合成のようにも思えるものでした。我々の住むこの地域では津波の被害はないものの、地震の恐怖というものは実感いたしました。

ただ今回この地震で一番感じたことは震災後の対応です。いまなお体育館での生活をしている被災者をみているとこの国の将来が不安になったことは私だけではないと思っています。(写真-ヤフー画像)



東京都東村山市秋津町3-50-3
042(393)1177

ご相談下さい

雨漏れ問題

防水工事・外壁工事

雨上がり なぜかボタリと 家の中

ヘーベル・ベースバック・アスロック・イーゼット・フレームキット
販売施工 **名取屋興産株式会社**
TEL 042 (341) 8811 FAX 042 (345) 1002

耐震診断現場調査(コア採取試験)・赤外線調査・超音波
測定等コンクリート構造物の総合診断会社
三協 株式会社
〒140-0013 東京都品川区南大井 2-12-10
TEL :03-3298-2081 FAX :03-3298-2080
http://www.sankyo-net.co.jp

連載：北部と ころ何処

東村山市、清瀬市、東久留米市
小平市、西東京市、武蔵野市

●武蔵境の「境」とは

高田 泰治郎

徳川三代将軍家光公の従兄弟で、松平秀康の四男、出雲松江藩主松平出羽守直政公が幕府より12町四方を賜り、ご用屋敷を設けて、鷹狩りをしていたところです。直政公は屋敷内に、徳川幕府の繁栄と天下泰平を祈願し、出雲の杵築大社（今の出雲大社）と稲荷社を創建しました。以来、境村の鎮守となっています。松平氏ゆかりの神社のため神紋は三つ葉葵です。（武蔵野市境南町2-10）

松平出羽守直政公は下屋敷内の西方に観音堂を一時建立しました、万治2年（1659）の頃屋敷は引き払われましたが、跡地は**境本氏**により開拓され、出雲新田となり観音堂は継承発展し観音院となりました。（武蔵野市境南町2-4）出雲松江藩の屋敷奉行の境本氏のご用屋敷のあった場所を幕府より貰い受け、境新田開発に努めたことにより、「**境**」の地名が名付けられました。品川用水が幕府の費用で開鑿（かいさく）されたのは寛文9年（1669）のことでした。この品川用水は、玉川上水を**境村**（今の武蔵野市・境）から分水していた仙川用水を野川村で分水し、品川領の9宿村を潤していた。（写真-五日市街道境橋交差点）



●支部スケジュール

9月	第6ブロック会の開催（9/16）
10月	ふれあいフェアをみる会（10/1）、本部会員交流ゴルフ大会（10/19）
11月	支部ゴルフ大会、第6ブロックゴルフ大会
12月	支部長会議、忘年会

●支部関連イベント

9月	むさしのぼうさいカフェ（9/25） 建築ふれあいフェア(9/30～10/2)
10月	指導2課との研修講座、耐震診断実務者講習会の開催（予定）
11月	市民耐震耐久セミナー（10/28）
12月	

●広報特集予告

新年号	北部支部の進路：会員の高齢化や減少が著しい支部ですが、今後の支部事業の新たな方向性を提案し、会員獲得作戦を支援する。
春号	新業務への展開：魅力ある支部とするため、講演会の開催（有料）、支部開発プロジェクト、耐震設計業務の受注、耐震診断に並ぶ調査業務の発掘。
夏号	リスクマネジメント：業務の減少が続く中、ユーザーからは厳しい条件を突きつけられることが多い。今後の業務のリスクと分散について調査し、支部の役割を明確にする。

季刊 広報 ほくぶ 秋号
第1号（8月20日発行）

発行：（社）東京都建築士事務所協会 北部支部
住所：〒188-0011 西東京市田無本町 4-9-1
測量センター内
メールアドレス：info@taaf-hokubu.jp.org

特 集

地震について編集者たちは

生コン販売・ALC（ｸﾘｵﾝ）・耐火被覆他
日興産業株式会社
TEL 042-342-0044 FAX 345-9576

●関 理一郎「原発よ さようなら」

（有）関建築研究所 新宿区西早稲田

東日本大震災は、家屋の倒壊、焼失、津波による流失などによる多数の死者、行方不明者を出し、甚大な被害をもたらしました。それだけでも茫然自失のことなのに、その上に原発事故。それによる放射能汚染。これがどれほど復興の足かせになっていることか。もはや震災地にとどまらず、全国的な問題になりつつあります。各地へ拡散する放射性物質、海洋汚染、風評被害、他の原発の不備の発覚、半永久的な廃棄物処理等々。福島原発1ヶ所のことで、これだけの問題をかかえてしまったのです。果たしてこのまま原発を続けていってよいものでしょうか。世界で起こる地震の10%ぐらいが日本で起こっているとの報道もあります。戦後効率という大義名分のもとに盲目的に原発に頼ってきました。もしかしたら、世界で一番立地的に原発に向かない国かもしれません。今回の大地震をきっかけに目をさますべきではないでしょうか。そして、**代替エネルギーへのターニングポイント**の年となるように願ってやみません。

●支部研修旅行報告（平成23年6月24～25日）



ナブコシステム株式会社のご協力により、無事研修旅行が実施されました。研修内容はナブコシステム株式会社つくば工場の視察が中心でしたが、最新式の電動大型シャッタースパイラルドアゲートシステム（超高頻度型高速ゲート）の製作場面など参加者各自の大きな学習になったとのこと。詳しくは次回広報にて報告させていただきたいと考えております。

**児玉コンクリート工業株式会社**
〒171-0022 東京都豊島区南池袋 2-9-9
http://www.kodama-conc.jp

YKK AP
アルミニウム製建具、鋼製建具
YKK AP株式会社
東京ビル建材統括支店立川支店
〒190-0012 東京都立川市曙町 1-27-10
読売立川ビル6F
TEL：042-521-1020